

Research for universal design of sound environment in public space

船場, ひさお/中村, ひさお

<https://doi.org/10.15017/459600>

出版情報 : 九州大学, 2006, 博士 (芸術工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

謝 辞

本論文の執筆にあたり、大変多くの皆様にご協力いただきました。どうもありがとうございました。

まず、ご指導いただきました九州大学芸術工学研究院音響部門の岩宮眞一郎教授に心より感謝申し上げます。岩宮教授は本研究全般にわたってご指導、ご助言くださったばかりでなく、私が九州芸術工科大学芸術工学部音響設計学科において卒業研究を行った時から、社会人として業務の傍らで研究を進める際にも、折に触れて的確なアドバイスならびに様々な経験を踏むチャンスを与えてくださいました。この場を借りて、あらためて感謝の意を表したいと思います。また、本論文をまとめるにあたり、九州大学芸術工学研究院音響部門の藤原恭司教授ならびに白石公男教授には、それぞれのご専門の立場から大変細やかなご指導とご助言を賜りました。どうもありがとうございました。

視覚障害者を対象としたアンケート調査の実施におきましては、財団法人国土技術研究センターの研究助成を受けると共に、札幌市視覚障害者協会、福岡市社会福祉協議会、障害者総合情報ネットワークの皆様にも多大なご協力をいただきました。また調査分析の遂行や調査結果の考察におきましては、東京都老人総合研究所（現在は兵庫県福祉のまちづくり工学研究所所属）の北川博巳氏、社団法人建設コンサルタント協会（現在は株式会社ドーコン所属）の横山哲氏、福岡市立心身障害福祉センターの豊田信之氏より、多大なご協力と貴重なご助言をいただきました。また九州大学岩宮研究室の白石浩介氏（現在は株式会社ジーベック所属）には、データ分析に協力していただきました。同じく岩宮研究室の上田麻理氏は、共同研究者として様々な協力や助

言をくださったばかりでなく、遠隔地に住む私に細やかな心遣いをしてくださいました。心より感謝申し上げます。

横浜国立大学大学院工学研究院建築環境工学研究室の太田篤史助手には、視覚障害者と音環境に関する貴重なご助言をいただくと共に、高齢者歩行実験における聴力検査にもご協力いただきました。ありがとうございました。

音環境デザイン事例における調査研究では、鹿島建設株式会社の原利明氏、社会福祉法人AJU自立の家わだちコンピュータハウスの河村恵子氏、山口良行氏、日本電波塔株式会社の前田久徳営業企画室長はじめたくさんの従業員の皆様にご協力いただきました。また音環境デザインの印象評価については、増田克子氏が様々な角度から協力してくださいました。そして、本研究が遂行できたのも、千代田化工建設株式会社の丸山誉次方氏、村田卓弘氏、斎藤裕二氏をはじめとする皆様方が私に音環境デザインの機会を与えてくださったお陰です。伊東廣孝氏は、長年にわたり音環境デザインの実践において陰になり日向になり、私を支えてくださいました。あらためまして、ここに御礼申し上げます。

九州大学博士後期課程への進学にあたっては、千代田化工建設株式会社の石渡孝雄氏、ならびに千代田アドバンスト・ソリューションズ株式会社の高山巧社長をはじめとする方々、そして友人の故 飯塚敏郎氏が私の背中を押してくださいました。また千代田アドバンスト・ソリューションズ株式会社の磯部博司氏、音響グループの皆様には、常に多くの応援をいただきました。どうもありがとうございました。

また、私が本研究を進めることができたのも、九州芸術工科大学芸術工学部音響設計学科在学中に、諸先生方から音響学の基礎を教えていただいたこと、諸先輩方や友人達と共に芸術工学について学び、一つの理想に向かって様々な分野から環境や空間をデザインしていくことの楽しさと大切さを実感できたことなどが、私のベースにあったからに他なりません。ここに、すばらしい体験を私に与えてくれた九州芸術工科大学への感謝を記したいと思います。

そして、母 中村多摩野、姉 野村ふじを、この夏帰幽した義兄 野村寿男は、どんな時にも変わらずにさりげなく、私の研究を応援してくれました。母 船場スミは、いつも電話で私の研究の進み具合を気にかけてくれました。そして夫 船場俊秀は、様々な形で私の研究を援助し、特にこの一年半の間は私を研究に専念させてくれました。何もものにも代えられないこの家族の思いやりに、心から感謝いたします。

今後もお世話になった皆様への感謝を忘れることなく、より良い音環境づくり、ならびに音環境のユニバーサルデザインの普及に向けて、尽力していきたいと思えます。